

政治資金の使途不明金

主催：憲法ネット103 2024年「政治とカネ」勉強会 会場：ZOOMによるオンライン

日時：2024年5月6日（月）14:00～15:30（講演60分＋質疑応答30分）

上脇博之（かみわき・ひろし）神戸学院大学教授（憲法学）

公益財団法人「政治資金センター」理事、「政治資金オンブズマン」代表

はじめに・・・憲法ネット103「政治とカネ」4回連続学習会

第1回 3月3日（日）14:00～15:30 政党・政治団体の収入源 第2回 4月6日（土）14:00～15:30 政治資金パーティー

第3回 5月6日（月・振替休日）14:00～15:30 政治資金の使途不明金（本日）

第4回 6月8日（土）14:00～15:30 政治資金と憲法改正国民投票

◆政治団体の支出明細が不明

・政治団体の種類によって支出の透明さが異なり、支出の透明度の高い政治団体から低い政治団体への資金移動がなされている。

◆最終的な支出が不明

・収支報告制度がない者への寄付が行われている。

1. 政治資金の透明度の高い政治団体から低い政治団体への資金移動

◆報道

自民党の茂木敏充幹事長の資金管理団体から寄付を受ける政治団体「茂木敏充後援会総連合会」と、棚橋泰文元国家公安委員長の政党支部や資金管理団体から寄付を受ける同「棚橋泰文後援会連合会」で2020～22年、使途の詳細が分からない支出がそれぞれ全体の97%超、2団体で計1億3500万円以上あった・・・

「1億3千万円使途明細なし 自民茂木氏、棚橋氏後援会」共同通信 2024/2/25（日）21:00

自民党の茂木敏充幹事長の資金管理団体が、使途公開基準の緩い政治団体「茂木敏充後援会総連合会」に毎年多額の資金を寄付して支出の具体的な内容が分からなくなっている問題で、寄付による資金移動が2009～22年の14年で4億4千万円に上ることが6日、政治資金収支報告書の分析で分かった。後援会総連合会の支出のうち使途明細がない割合は09年と12年を除き毎年90%を超え、全体で94.4%を占めた。

「茂木氏団体、資金移動は4億円超 使途公開基準緩い後援会組織に」共同通信 2024年3月6日 20時46分2秒

宮腰光寛沖縄北方相が代表の自民党富山県第2選挙区支部など2団体から寄付を受ける政治団体「宮腰光寛後援会」の2014～16年の政治資金のうち、使途の明細が分からない支出が約3384万円に上ることが24日、後援会の政治資金収支報告書で分かった。支出全体の7割超を占めた。

「宮腰氏後援会の支出、3千万円分が明細不明」共同通信 2018/10/24 20:49

（1）「支出」の明細記載義務の違いにとって重要である政治団体の種類

資金管理 団体	「公職の候補者が、その代表者である政治団体のうち、その者のために政治資金の拠出を受け るべき政治団体と指定したもの」・・・国会議員、地方議員、首長の指定した政治団体
------------	---

国会議員 関係政治 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・「衆議院議員又は参議院議員に係る公職の候補者が代表者である政治団体」・・・資金管理団体も ・「政党の支部で、衆議院議員又は参議院議員に係る選挙区の区域又は選挙の行われる区域を単位として設けられるもののうち、衆議院議員又は参議院議員に係る公職の候補者が代表者であるもの」・・・いわゆる選挙区支部 ・「租税特別措置法第41条の18第1項第4号に該当する政治団体のうち、特定の衆議院議員又は参議院議員に係る公職の候補者を推薦し、又は支持することを本来の目的とする政治団体」・・・市民が当該政治団体に寄付をした場合に税制上の優遇措置を受けられることが前提・・・当該優遇措置を受けられない政治団体は「特定の衆議院議員又は参議院議員に係る公職の候補者を推薦し、又は支持することを本来の目的とする政治団体」であっても「国会議員関係政治団体ではない!!!」
その他の 政治団体	政党本部、政党支部（上記国会議員関係政治団体の選挙区支部を除く）、派閥の政治団体、業界の政治団体、勝手連の後援会など

(2) 「支出」の明細記載基準の違い（政治資金「支出」における透明度の違い）

「支出」の明細記載および領収書の写しの添付の基準

		国会議員関係政治団体 (2009年分から)	資金管理団体 (国会議員関係政治団体 以外。2008年分から)	その他の政治団体 (国会議員関係政治団体・ 資金管理団体以外)
経 常 経 費	人件費	×	×	×
	光熱水費	1万円超	5万円以上	
	備品・消耗品費 事務所費	(その領収書等の写しの 情報開示あり)	(その領収書等の写しの 情報開示あり)	×
政 治 活 動 費	組織活動費	1万円超 (その領収書等の写しの 情報開示あり)	5万円以上 (その領収書等の写しの 情報開示あり)	5万円以上 (その領収書等の写しの 情報開示あり)
	選挙関係費			
	機関紙誌発行その他事業費			
	調査研究費 寄附・交付金			

出典：総務省自治行政選挙部政治資金課「政治資金規正法のあらまし」の一覧表を参照に上脇が簡略作成

(3) 領収書等の情報公開請求

・氏名等の明細を記載する義務のある支出（1万円超又は5万円以上）については、政治資金収支報告書の提出されている総務大臣又は都道府県選挙管理委員会に領収書の情報公開請求をする。

※**国会議員関係政治団体**の場合は、**1万円以下の少額領収書の情報公開**もできるが、当該領収書は総務大臣・都道府県選挙管が保持していないので、当該国会議員関係政治団体に提出を求めるため時間がかかる。

(4) 国会議員関係政治団体の支出についての監査制度

・「国会議員関係政治団体」は支出について登録政治資金監査人による監査を受けなければならない・・・「国会議員関係政治団体」以外の政治団体は受ける必要はない。

(5) 「明細記載」逃れの例

(i) 宮腰光廣議員の政治団体の場合

宮腰光廣大臣の政治団体の基本情報

政治団体名	自民党富山県第2選挙区支部	光政会	宮腰光廣後援会
所在地	魚津市新金屋 1-12-38 インテリジェントセンタービル3F	魚津市新金屋 1-12-38 インテリジェントセンタービル3F	魚津市新金屋 1-12-38 インテリジェントセンタービル3F
代表者	宮腰光廣	宮腰光廣	米屋正弘
会計責任者	寺口俊光	寺口俊光	寺口俊光
事務担当者	白川智也	白川智也	武田俊光
電話	0765-23-9550	0765-23-6150	0765-23-6150
資金管理団体の有無	×	○宮腰光廣	×
国会議員関係政治団体の有無	○宮腰光廣	○宮腰光廣	×

「宮腰光廣後援会」（その他の政治団体）への寄付（2017年計1900万円）

寄付者	寄附の年月日	寄附金額	寄附受領者
自民党富山県第2選挙区支部 (国会議員関係政治団体)	2017/5/2	3,000,000円	宮腰光廣後援会 (その他の政治団体)
	2017/8/17	2,000,000円	
	2017/10/4	3,000,000円	
	2017/10/25	5,000,000円	
	2017/12/28	5,000,000円	
光政会 (国会議員関係政治団体)	2017/7/24	1,000,000円	宮腰光廣後援会 (その他の政治団体)

「宮腰光廣後援会」（その他の政治団体）の明細なき「経常経費」支出

経常経費(明細記載義務なし)	金額
人件費	522,674
光熱費	99,481
備品・消耗品	2,932,449
事務所費	2,063,610
合計	5,618,214

宮腰光廣後援会（「その他の政治団体」）の「政治活動費」の支出の透明度（2017年）

政治活動費	金額(円)	5万円以上 (明細記載)	5万円未満 (明細なし)
(1)組織活動費	6,701,910		
うち行事費		1,457,718	2,570,112
うち行事費交通費		174,500	
うち渉外費			2,499,580

(2) 選挙関係費	3,352,403	3,352,403	0
(3) 機関誌の発行等の事業	1,307,010		
ア機関誌の発行事業費		226,840	50,760
イ宣伝事業費		1,029,410	0
イのうち自動車検代など		130,900	260,410
イのうちポスター代		496,800	0
イのうちサイト修正代		77,700	63,600
(4) 調査研究費	113,286	0	113,286
(5) 寄附金	485,000	200,000	285,000
合計	11,959,609	7,146,271	5,842,748

明細記載のない支出合計額の比較（2017年）

	宮腰光廣後援会 (その他の政治団体)	自民党富山県第2選挙区支部 (国会議員関係政治団体)
人件費を除く明細記載なし支出	1093万8288円	7万4671円
人件費（明細記載なし）支出	52万2674円	1740万4029円

2. 収支報告制度のない公職の候補者への寄付・・・使途不明金（裏金）

(1) 政党（本部、支部）の行う「公職の候補者への寄付」

- ・政治資金規正法は「公職の候補者」（現職の政治家を含む）に寄附することを原則として禁止している（第21条の2第1項）ので、「公職の候補者」の政治資金収支報告制度はない（ただし、立候補者の選挙資金については公選法により選挙運動費用収支報告が義務づけられている）。
- ・その例外は政党が「公職の候補者」に寄附する場合（第21条の2第2項）。
- ・党本部は幹事長など「公職の候補者」に寄附しているが、公職の候補者個人の収支報告制度なし

「公職の候補者」への合法的な寄附と違法な寄附

寄附供与者	寄附受領者	寄附の目的	合法・違法
政治団体・個人	公職の候補者	政治活動（選挙運動を除く）	違法
政治団体・個人	公職の候補者	選挙運動	合法
政党（本部又は支部）	公職の候補者	政治活動・選挙運動	合法

自民党本部の「政策活動費」名目で幹事長らへの支出額と受領議員数（2012年～2022年）

年	政策活動費支出	受領人数	受け取った議員と合計金額（1億円以上に限定紹介）	国政選挙
2012年	9億6510万円	19人	石破茂2億6000万円（9月から幹事長） 安倍晋三2億5000万円（10月から総裁） 石原伸晃2億0780万円（9月まで幹事長）	衆院選

2013年	12億9080万円	14人	石破茂10億2710万円(幹事長)	参院選
2014年	15億9260万円	13人	谷垣禎一8億5950万円(9月から幹事長) 石破茂5億1140万円(8月まで幹事長)	衆院選
2015年	12億3920万円	22人	谷垣禎一7億880万円(幹事長) 茂木敏充1億5550万円(選対委員長)	
2016年	17億390万円	19人	谷垣禎一6億7950万円(8月まで幹事長) 二階俊博5億250万円(総務会長、8月から幹事長) 吉田博美1億2000万円(参院国対委員長、7月末から参院幹事長) 茂木敏充1億190万円(選対委員長、8月から政調会長)	参院選
2017年	19億1730万円	20人	二階俊博13億8290万円(幹事長) 吉田博美1億円(参議院幹事長)	衆院選
2018年	12億1320万円	19人	二階俊博8億3270万円(幹事長)	
2019年	12億9010万円	18人	二階俊博10億710万円(幹事長)	参院選
2020年	9億8330万円	12人	二階俊博6億3200万円(幹事長) 福井照1億4150万円(経理局長)	
2021年	17億2870万円	26人	二階俊博4億3910万円(9月まで幹事長) 甘利明3億8000万円(10月・11月幹事長) 茂木敏充2億4520万円(11月から幹事長) 関口昌一1億3700万円(参議院議員会長) 遠藤利明1億1650万円(10月から党選挙対策委員長)	衆院選
2022年	14億1630万円	15人	茂木敏充9億7150万円(幹事長) 渡辺博道1億3250万円(経理局長)	参院選

◆都道府県支部連合会や各支部でも・・・「組織活動費」「活動費」名目で

自由民主党福島県支部連合会の「組織活動費」名目の大勢の個公職の候補者への寄附支出

年	本部からの交付金	うち政党交付金	支出目的	合計額	備考
2012年	約6228・4万円	2670・4万円	組織対策費	1515・0万円	衆院総選挙
2013年	約6642・5万円	1900・0万円	組織対策費	1930・0万円	参院通常選挙
2014年	約5865・6万円	3700・0万円	組織対策費	4872・8万円	衆院総選挙
2015年	約3953・6万円	1300・0万円	組織対策費	3365・0万円	
2016年	約8971・0万円	2900・0万円	組織対策費	6702・7万円	参院通常選挙
2017年	約5040・3万円	3200・0万円	組織対策費	5065・0万円	衆院総選挙
2018年	約4893・0万円	約1134・9万円	組織対策費	4516・0万円	
2019年	約6663・1万円	約5128・9万円	組織対策費	7316・0万円	参院通常選挙
2020年	約1697・9万円	約1027・7万円	組織対策費	約503・8万円	
2021年	約4711・1万円	約2524・0万円	組織対策費	3185・0万円	衆院総選挙

(2) 内閣官房報償費（機密費）

・会計検査院も領収書のチェックができない公金。年間約12億のうち9割は内閣官房長官が管理（最高裁第2小法廷2018年1月19日判決により原告一部勝訴の結果、開示使途文書で判明）。

・過去には、政治資金のように自民党のために使われた疑惑あり（消費税導入時に野党の一部へ。政治資金パーティー券購入など）。・・・総理、元総理らへ。

1989年（平成元年）度分の使用状況

区分	予算額	備考
1. 経常経費	6億円	総理・長官等の諸経費、官邸会議費、慶弔、国公賓接遇費、総理・長官主催接宴費等
2. 官房長官扱	16億円	内政・外交対策費
3. 官房長官予備費	5億円	
4. 特別経費	5億2800万円	自民党外交対策費 、夏季・年末経費、総理外遊経費、その他
合計	32億2800万円	

※1989年5月に作成された竹下登内閣の小淵恵三内閣官房長官から宇野宗佑内閣の塩川正十郎内閣官房長官への引継ぎ文書（時、首席内閣参事官だった古川貞二郎氏の作成ではないか。古川ペーパー）

1991年11月～1992年12月内閣官房報償費の一部の支出内訳

（宮沢喜一内閣、加藤紘一官房長官）

支出	内訳（概算）
パーティー	3028万円
手当	3050万円
国対	2521万円
香典	243万円
餞別	2043万円
経費	1298万円
花	113万円
結婚式	60万円
御祝	120万円
見舞・出張	103万円
小計	1億2579万円
その他	1807万円
合計	1億4386万円

内閣官房報償費の目的類型、各出納管理者・内容・支出先

目的別	出納管理者	内容	支出先
政策	内閣官房	関係者の合意や協力を得るための対価	合意・協力者

推進費	長官	有益な情報を得るために支払われる対価	情報提供者
調査情報 対策費	事務補助者	情報提供の対価	情報収集・協力依頼の相手方
		情報収集のための会合の経費	会合事業者(料亭、ホテル等)
活動関 係費	事務補助者	交通費	交通事業者(タクシー、ハイヤー等)
		会合費	会合事業者(料亭、ホテル等)
		書籍類	書店
		活動経費	情報収集・協力依頼の相手方
		贈答品	事業者
		謝礼	情報収集・協力依頼の相手方
		慶弔費	慶弔の相手方
		支払関係(振込手数料)	銀行等の金融機関

(3) 収支報告制度のない調査研究広報滞在費(旧・文書通信交通滞在費)

・月額100万円・年間1200万円の使途報告制度なし。

3. 明細不明や使途不明金をなくす政治改革の必要性

(1) 支出の透明度を高める法律改正・・・考えられる2つの改革案

- ・すべての政治団体の支出について「国会議員関係政治団体」と同じ透明度にする案
- ・「国会議員関係政治団体」から寄附などの政治資金を受け取った政治団体は「国会議員関係政治団体」と同じ透明度にする案

(2) 裏金づくりができないようにする政治改革

- ① 政党(本部、支部)の行う公職の候補者への寄付の禁止
- ② 調査研究広報滞在費(旧・文書通信交通滞在費)は使途報告を義務付ける!(会派に交付される立法事務費と統合する!)
- ③ 内閣官房報償費(機密費)は秘密の程度に応じて将来の使途報告を義務づける

◆参考文献

- ・『どう思う? 地方議員削減』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『財界主権国家・ニッポン 買収政治の構図に迫る』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『告発! 政治とカネ 政党助成金20年、腐敗の深層』かもがわ出版、2015年
- ・『追及! 安倍自民党・内閣と小池都知事の「政治とカネ」疑惑』日本機関紙出版センター、2016年
- ・『日本国憲法の真価と改憲論の正体』日本機関紙出版センター、2017年
- ・『ここまで来た小選挙区制の弊害 アベ「独裁」政権誕生の元凶を廃止しよう!』あけび書房、2018年
- ・『内閣官房長官の裏金 機密費の扉をこじ開けた4183日の闘い』日本機関紙出版センター、2018年
- ・『安倍「4項目」改憲の建前と本音』日本機関紙出版センター、2018年

- ・『逃げる総理 壊れる行政 追及！！「桜を見る会」&「前夜祭」』日本機関紙出版センター、2020年
- ・『忘れない、許さない！ 安倍政権の事件・疑惑の総決算とその終焉』かもがわ出版、2020年
- ・富田宏治・上脇博之・石川康宏『いまこそ、野党連合政権を！』日本機関紙出版センター、2020年
- ・上脇博之・阪口徳雄・前川喜平・小野寺義象・石戸谷豊・岡田正則・松宮孝明『ストップ！！国政の私物化 森友・加計、桜、学術会議の疑惑の究明する』あけび書房、2021年
- ・『政党助成金、まだ続けますか？』日本機関紙出版センター、2021年。
- ・河井疑惑をたぐす会・上脇博之『だまっとれん 河井疑惑 まだ終わっていない』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『日本維新の会の「政治とカネ」「身を切る改革」の正体を暴く』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『憲法の破壊者たち 自民・国民・維新・勝共・日本会議の改憲案を検証する』(日本機関紙出版センター・2022年)
- ・『なぜ「政治とカネ」を告発し続けるのか ～議会制民主主義の実現を求めて』日本機関紙出版センター、2023年。